

単元名：

「夏が いっぱい」

(全 2 時間扱い中 第 1 時)

授業日時 2021 年 7 月 8 日 (木) 第 3 校時

授業学級 2 年 2 組

授業会場 2 年 2 組教室

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼 (授業の手立て & ねらい)

(〇〇の子ども達が) 〇〇の場面で、〇〇を通して、〇〇を□□することができる／できるようになる。

春を感じる言葉に触れた経験がある子どもたちが、夏を感じる言葉を探す場面で、友達が探した夏を感じる言葉やその言葉に夏を感じた理由を共有することを通して、たくさんの夏を感じる言葉に気づくことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 本時の課題を確認。	・春にみんなで外へ出たよ。	・教科書 90P を開いてもらう。【教科書】	5
	【学習問題】夏を感じる言葉には何があるだろう。			
	2. 教科書の挿絵を見る。	・すいかは夏にたくさん食べるよ！	・挿絵の中で夏を感じるものを発表してもらう。【挿絵(スクリーンに映す)】	5
	【学習課題】夏を感じる言葉を見つけよう。			
展開	3. 個人で考える。	・1 位は海でしょ！ ・ゲームセンターしか思い浮かばない。	・教師が夏を感じる言葉の例 (ホテル、かき氷、海) をパワーポイントを使用して示す。 ・子どもたちに夏を感じる言葉を箇条書きで書いてもらう。【ワークシート】 ・机間指導で声かけをし、意欲づけ。	6
	4. 全体で共有する。	・ああ、この言葉も夏っぽいな。 ・〇〇さんはどうしてこの言葉から夏を感じたんだろう？ ・僕はとうもろこし祭りに行くよ！ ・とうもろこし祭り？	・子どもたちの意見を黒板に虫、植物、食べ物、その他の 4 つに分類してまとめる。	14
	5. ペア活動	・〇〇さんはこういった理由があってこの言葉から夏を感じたのか。 ・僕が 1 番夏を感じる言葉は夏休み。 ・選んだ言葉は一緒だけど理由が違うな。	・自分が 1 番夏を感じる言葉を選んでもらう。 ・自由に子どもたちに話し合いをさせる。	10
終末	6. ふりかえり	・今日はたくさんの夏を感じる言葉を見つけられたな。 ・人によって夏を感じる言葉は違うんだな。	・「今日はみんなたくさんの夏を感じる	5
			【本時の評価 (評価する対象)】 たくさんの夏を感じる言葉に気づくことができたか (ワークシート) 言葉に気づくことができたね！	